

特別栽培米研究部会 活活楽楽篤農クラブ  
IKIIRAKURAKUTOKUNOUCUB



特別栽培米  
環境こだわり農産物

# 2016年 栽培日記

JA滋賀蒲生町



## Vol.7 刈取り・搬入編

【2016.9.24】

稲穂の色も色づき、いよいよ収穫の時期となりました。今年も天候にも恵まれ順調に稲が生育し、例年よりも早めの収穫となりました。順調に刈取り・搬入が行われ、次々とカントリーエレベーターに運ばれてきました。

今年も、生育期に天候も恵まれ稲が順調な生育し、例年より早めの刈取り時期を迎え蒲生の田園風景にコンバインで軽快に刈取りす姿があちらこちらで見られます。

刈取り時期に雨や台風の上陸もあり、稲の倒伏といった被害も心配されましたが、問題なく刈取り作業が進んでいます。春に好評だったJA新入職員の農業実習を刈取り時期にも実施し、実際にコンバインでの刈取りや米の搬入を実際に体験させていただき、参加した職員からは、大変よい経験になったと好評でした。



刈取された籾は、30kgの米袋や90kgもあるフレキシブル・コンテに詰められ、トラックや軽トラックに積み込まれカントリーエレベーターや集荷施設まで運ばれてきます。

カントリーエレベーターで荷受された籾は、乾燥機にかけられ、職員が交代で夜間も泊まり込み24時間体制で乾燥状態等を見ながら乾燥作業が行われます。乾燥が終わるまで貯蔵され、籾の水分にバラつきが出ないように循環させながら、均一に乾燥させます。最後に出荷前に籾すりされ、出荷されます。